

参考資料

各位様

2007年12月24日

横浜山下町地区第一種市街地再開発事業B1・B2地区における 公開空地（オープンスペース）を利用した 山下居留地遺跡を保全活用したプロムナードの実現に向けて (建築計画をほとんど変更することなく、同遺跡を一部現地保存する事が可能)

記

横浜山下町地区第一種市街地再開発事業敷地において、神奈川県が実施している遺跡発掘調査の結果、多くの専門家が認める、我が国の歴史文化にとって極めて貴重な遺跡が出土し、専門家や市民等より事業関係者等に対して遺跡の保存に関する要望書が提出されています。この件について、神奈川県知事を含め事業関係者及び学識経験者並びに市民等の間では、再開発事業の建設工事と同遺跡の保全活用に関して、充分な物理的、空間的分析と検討を踏まえないまま、「保存」もしくは「撤去」の二極論で議論が進められています。

そこで、「山下居留地遺跡の価値を考える会」が本事業関連の最新の資料を元に、空間的な検討をした結果、既成の建築計画をほとんど変更することなく、同遺跡を一部現地保存する事が可能であることが判明いたしました。関係者各位におかれましては、このことを熟考の上、今後の検討を進めていただきます様よろしく御願いいたします。

また、詳細については別紙の資料をご参照ください。

一. 添付資料「横濱開港150周年記念事業（仮称）山下居留地遺跡プロムナード整備事業の提案」

本資料は以下の宛先に郵便又は電子メールにてお送りしております。（順不同、敬称略）

神奈川大学教授 西和夫 / 横浜国立大学大学院教授 吉田鋼市
関東学院大学教授 水沼淑子 / 慶應大学SFC准教授 岡本孝之
神奈川県知事 / 神奈川県教育委員会 教育長 / 横浜市長 / 横浜市教育委員会 教育長
横浜市都市整備局 都市デザイン室 / 横浜市まちづくり調整局 宅地審査課・宅地企画課
独立行政法人都市再生機構 理事長 / 日本放送協会横浜放送局 局長
株式会社 ゼファー本社 代表取締役 / 株式会社 大和地所 代表取締役
(社)日本建築学会神奈川支所 / (社)日本建築家協会神奈川地域会
横浜市建築設計協同組合 / 横浜市建築事務所協会 / 日本都市計画家協会横浜支部
ヨコハマ洋館探偵団 / 神奈川地域史研究会 / 旧モーガン邸を守る会
横浜都市発展記念館 / 財団法人 かながわ考古学財団 / よこはま洋館付き住宅を考える会
N H K 横浜放送局 記者 / テレビ神奈川報道部 記者
朝日新聞社横浜支局 記者 / 神奈川新聞社報道部 記者 / 読売新聞横浜支局 記者
東京新聞横浜支局 記者 / その他市内報道機関

山下居留地遺跡の価値を考える会暫定事務局（よこはま洋館付き住宅を考える会事務局内）

〒240-0016 横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘9-2 電話 045-335-7164 FAX 045-335-7176